

2024 教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	神奈川県環境学習リーダー会、神奈川県環境科学センター(共催)				
題名・副題	2024 夏休み子ども環境体験教室 ～君たちの未来のために～ (全5教室)				
月日・時間	2024年7月29日～8月2日 10:00～12:00				
開催場所	神奈川県環境科学センター				
部会・講師名	浜辺謙吉(まとめ)、吉岡嗣二郎、三田重雄、長村吉洋	参加数	延べ 85 名	講師数	延べ 15 名

写真・



気候変動:二酸化炭素の溶解性の実験



ソーラー風車:羽根車がうまく回るかな?



雲とトルネード:熱気球が飛んだ!!



身近な植物観察:植物観察



空気砲とエアバッグ:空気砲の力!!

成

今年開催した教室は、「映像と実験でわかる気候変動」、「太陽の光で回るソーラー風車を作ろう」、「雲とトルネードをペットボトルの中に作ろう」、「身近な植物観察・不思議発見」、「空気砲とエアバッグを作ろう」です。

●「映像と実験でわかる気候変動」では、映像で暑さの現状、二酸化炭素、高齢者の熱中症対策等について学びました。実験では様々な場所の暑さ指数調べ、二酸化炭素と空気の重さ比べ、二酸化炭素と石灰水との反応、海水の二酸化炭素の吸収、入浴剤中の二酸化炭素の捕獲等を体験学習しました。(浜辺謙吉)

●「太陽の光で回るソーラー風車を作ろう」では、太陽のエネルギーについて詳細に学習した後、ソーラー風車を工作しました。出来上がった風車は手のぬくもりでも回転し、子ども達に大きなインパクトを与えました。また、出来上がった風車で発電する「太陽光発電」、「光と熱」、「手回し発電」等様々な発電方法を体験学習しました。(三田重雄)

●「雲とトルネードをペットボトルの中に作ろう」では、雲の種類、雲にまつわる伝説、雲ができる仕組み等を学習しました。海水が蒸発すると塩分が取り除かれて淡水化する実験、熱気球の体験、ペットボトルに3つの方法(チリの有無、アルコール)で人工の雲を作る実験。ペットボトルでトルネードを作る実験等を行いました。(浜辺謙吉)

●「身近な植物観察・不思議発見!」では、植物観察の面白さやポイント、太陽との関係、植物の特徴などを学習して、環境科学センターの圃場で屋外観察を行いました。観察した主な植物は4枚の小さい葉と1枚の大きな葉を持つヤブカラシ、小さな実がミカンに似たピラカンサ、匂いがガス臭いハマヒサカキ、クリスマスツリーに使われるモミ等です。圃場から採取してきた葉の葉脈を顕微鏡で観察し、詳細に調べました。最後に、観察した結果を参加者に発表し、楽しい講座になりました。(吉岡嗣二郎)

●「空気砲とエアバッグを作ろう」では、普段は意識しない空気の存在、地球温暖化、ストップ温暖化等について学習しました。空気砲を作製し、空気の圧力が空間を移動して力になることを体験しました。また、「パスカルの原理」を体験するエアバックを作製し、呼気の僅かな力で重い本や、ペットボトル、自分自身までもが持ち上がり驚きの声が上がりました。(長村吉洋)